

みんなで作る宗谷。slow & active SOYA PARTY

NPO法人 街にいきたいPRO

【稚内市街地の現状とNPOの設立】

稚内市の人口は、1975（昭和50）年の55,464人をピークに減少傾向となり、現在は30,825人（2024年2月末）の人々が暮らしています。活動拠点でもある稚内駅を中心とした稚内中央地区（以下、「中央地区」）は、昭和から平成に入り広い土地のある南稚内に大型店などが進出したこともあって、人口流出が続き、中央地区の商店街は年々衰退していきました。

2007年、私たちは、衰退した商店街をなんとかしたいとNPO法人街にいきたいPROを立ち上げ、空き店舗の利活用、店舗誘致、商店街のイベント運営などの活動を行ってきました。2016年、宗谷総合振興局の宗谷全体の地域活性化事業のプロポーザルに採択され、SOYA PARTYと題し、宗谷10市町村の情報発信やイベントを行う活動を3年にわたって行ってきました。2020年には、かねてより目標の一つであった中央地区に皆が集えるゲストハウス「STAY稚内」を稚内駅前にオープンさせることができました。

【稚内・宗谷の滞在を長く楽しい思い出に】

宿泊施設を運営して、稚内を素通りする観光客や、時間を持て余す観光客が多いことに気付き、中央地区を拠点に稚内や宗谷の滞在を少しでも長く楽しんでもらい、地域の魅力を知ってほしい！と、企画したのが「宗谷のんびりセット・無料レンタル」です。ハンモック、コーヒー焙煎セット、コンロ、チェアなど、ちょっと楽しいキャンプギアを無料で貸し出し、使用している様子の写真をSNSで発信させてくださいという企画です。

2022年、夏の観光シーズンからゲストハウス「STAY稚内」が窓口となって、無料レンタルを始めました。また、少しでも情報に目を止めてもらえるように情報発信のスタッフを雇い、スタッフ自身がキャラクター「宗谷パーティー君」として、Facebookやインスタグラムで場所の提案をしました。

どんな街にも必ずある、ガイドブックに取り上げられないような町の普通の公園。そんな公園が意外と北海道らしく景色の良い場所であったり、のんびりスポットに適しています。そんな素朴な場所を積極的に選び、「前浜でゆっくり読書をしよう！」、「港公園のベンチをテーブルにして勉強しよう！」、「森林公園でコーヒー豆を焙煎して、ゆっくりコーヒーを飲もう！」、「商店街で買ったお弁当を公園で食べよう！」など、SNSで発信しました。宗谷パーティー君には、中央地区のお店を紹介するなど、観光客や市民に向けてSNS上で、コメントをやりとりし、少しずつ盛り上げていただきました。



SNS発信時の写真



「宗谷のんびりセット」PR用のチラシ

宗谷のんびりセットの利用は、2シーズンで45組の利用があり、Facebookのフォロワー数も6,500人まで増えています。利用した方の感想には、「小さな非日常体験が思い出に残った」、「時間を無駄なく、有効に使えた」、「地元の方と交流ができた」、「何気ない場所でも楽しむことができた」など、反応は好評でした。

SNSでは盛り上がりがあった一方で、利用者の多くは、ゲストハウスのフロントで宿泊したお客さんにア

ナウンスしたことで、利用に結びついたのが大半です。SNSからの利用者は少なく、声をかけなければ利用が少ないということがわかりました。

これらの問題点を踏まえ、令和6年度も宗谷のんびりセットを継続していきます。

【みんなで作る、街歩きマップブック】

稚内市中央地区の魅力を載せた「街歩きマップブック」を作ろうと、のんびりセットの利用者や、SNSのフォロワーから、おすすめの場所、お店情報などを集めました。中でも中央地区の裏山に広がる稚内公園は、景色もよく楽しめたと、多くの意見があり、中央地区に限らず、稚内公園も含めた街歩きのマップを制作することに決めました。こんなに反応のよかった稚内公園ですが、市内のガイドブックには、公園の情報が詳しく書かれたものはありません。稚内公園で有名なのは北側の氷雪の門や百年記念塔があるエリア。そこで私たちが目をつけたのが、南側の市民キャンプ場。昭和40年代に開発されたキャンプ場には、山頂まで複数の遊歩道があり、きれいに整備されているのですが、地図も案内板もなく、稚内の人もその存在を知らないほど。しかし、市内から30分歩けばサハリン、利尻山を望む絶景の地でした。

「市内が一望でき、汽笛が聞こえるコース」、「唐松並木のアーチ」、「利尻山が見えるコース」など、そんな公園の魅力を稚内の市民にも知ってもらいたく、稚内公園・山歩きワークショップを2回、開催しました。1回目は、国境写真家の齊藤マサヨシさん、2回目はポラリス・ネイチャーガイド&コンサルタンツの嶋崎暁啓としひろさんを講師に招き、参加者と一緒に公園の山道



稚内公園でのワークショップの様子

を歩きながら、動植物や、稚内公園の歴史、地形の話等を学び、終了後は参加者の皆さんと意見交換をしてマップブック作りに協力をしていただきました。

みんなで作るマップブック『流水とけて』（B4版8ページ）は、稚内中央地区と稚内公園を楽しく歩けるものになりたいと、現在、ゴールデンウィークの配布に向けて絶賛編集中です。ブックのタイトル『流水とけて』これは、宗谷岬の歌にでてくる歌詞です。流水溶けて、春風吹いて…につながりますが、今、ストップしているサハリン・ロシアとの交流と、戦争の氷が早く溶けてくれ！とのメッセージをこめて、このタイトルをつけました。



みんなで作った街歩きマップブック『流水とけて』

【今後の活動について】

完成したマップブックを元に、稚内公園の山道の案内板の設置などを稚内市に要請し、もっと多くの観光客、市民の皆さんにも知ってもらい、稚内公園、中央地区の魅力をPRしていきます。また、他の団体と連携し、この山道でのEバイクツアーの提案など、新しいアクティビティも考えてまいります。のんびりセットや、マップブックを宗谷の他町村にもひろげ、さらに仲間を増やし、「宗谷面白いことやってるよ！」と言われるように宗谷全体を盛り上げてまいります。

ぜひ皆さんも宗谷に遊びに来てください。

